

ハイウェイテクノフェア2008の実施結果について

「安全・安心」、「お客様サービス向上」を支えている技術を展示・紹介するとともに、技術開発について他企業との連携を目的に参加。

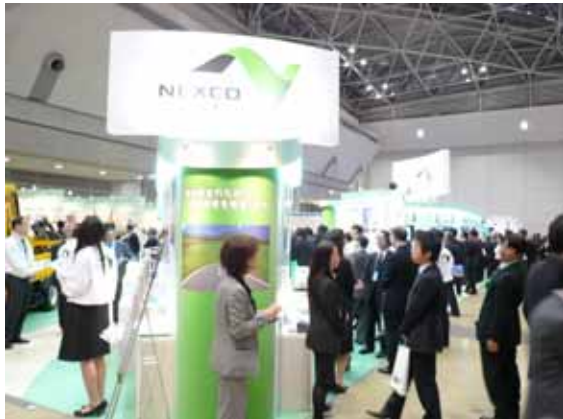
実施結果概要

- ・ 開催場所:東京ビッグサイト 西3ホール
- ・ 開催日:平成20年11月13日(木)~14日(金)
- ・ 出展企業:92社(対前年 +12社)
- ・ 来場者数:7,878名(対前年 +1,174名)
- ・ ハイウェイテクノツアー(東京湾アクアライン、パサル幕張等)を試行的に実施。
行政・学校関係者等22名が参加。(8割以上の方が有意義との感想)

NEXCO 東日本グループの出展概要

- ・ NEXCO 東日本グループからの出展企業
 - NEXCO 東日本
 - 保全点検業務の子会社4社(ネクスコ・エンジニアリング北海道、ネクスコ・エンジニアリング東北、ネクスコ東日本エンジニアリング、ネクスコ・エンジニアリング新潟)
 - 維持修繕業務の子会社4社(ネクスコ・メンテナンス北海道、ネクスコ・メンテナンス東北、ネクスコ・メンテナンス関東、ネクスコ・メンテナンス新潟)
 - 関連会社の高速道路総合技術研究所、ハイウェイ・ツール・システム
- ・ エンジ会社からは、点検の効率化・高度化等に関する技術を展示。
(例:ユビキタスマンテナンス情報収集システム(開発中)、小径コアによるコンクリート構造物の劣化度診断、逆送防止システム等)
- ・ メンテ会社からは、維持補修工事を安全・効率的に行う技術を展示。
(例:迅速な草刈・雑木処理が可能な装置、橋梁桁端狭小部の補修装置等)

出展状況



ユビキタスマンテナンス情報収集システム

道路構造物に、維持管理に必要な様々なセンサを取付け、センサで得られたデータをICタグを利用して収集・更新・伝送するシステムです。

走行する車両から異常箇所を特定でき、点検の省力化や効率化、損傷や劣化の予測、異常の早期発見等に利用できます。

また、ICタグを取付けることによって資産管理を行うことができます。

小径コアによるコンクリート構造物の劣化診断

ひびわれ	遊離石灰	露筋
剝離	抜げ落ち	異常なたわみ
鉄筋露出	変色	変形
うき	劣化	欠損
漏水	異常音	

コンクリート構造物より小径コア(50 mm以下)を採取し、電子線マイクロアナライザーや電界放射型走査電子顕微鏡を用いて分析することで、塩害・アルカリ骨材反応・中性化に対して高精度な劣化予測を行う技術です。

また、小径コアを採取することで構造物への損傷及び密な配筋状態での鉄筋損傷リスクを軽減することが可能で、目視点検との組み合わせで、早期予防保全を目指した維持管理が可能となります。